

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	腎盂尿管移行部通過障害に対する腎盂形成術の術式別成績と腎機能推移の検討
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：宮澤 克人
研究責任者	金沢医科大学 小児外科学 安井 良僚
研究参加拒否 申込受付期間	2026年5月31日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までにお問い合わせいたします。
研究期間	倫理審査委員会承認日 ～ 2026年 6 月 13日
対象者	2010年4月～2022年12月までに当科で手術を受けられた腎盂尿管移行部通過障害による水腎症の方
当該研究の意義・ 目的	腎盂尿管移行部通過障害による水腎症（本疾患）に対しては標準術式が確立され、小児泌尿器学会より手術適応を含めた診療手順についての治療ガイドラインが提示されています。当科でもこれに準拠し、標準術式であるAnderson-Hynes法腎盂形成術を施行してきましたが、低侵襲手術の進化により2017年より後腹膜鏡下手術、2021年よりロボット支援下腹腔鏡手術を導入しています。このような近年の術式の過渡期のなかで、本疾患における術後長期の腎機能の推移等の詳細な研究報告はすくないのが現状です。本研究の目的は、各術式における術後腎機能を中心とした経過を比較検討し、最適な治療方針を検討することです。
方法および研究で 利用する試料・情 報について	本研究は、当院の診療録から対象となる患者さんの術前および術後6ヵ月、1年、3～5年の性別、手術時年齢、症状、血液検査結果、超音波検査、核医学検査、手術適応、術式、手術時間、入院期間、術前および術後1年・3年または5年の腎盂前後径、腎利尿レノグラムによるT1/2および分腎機能などを調べます。 この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。またゲノムデータの解析はありません。この研究で得られたデータは大学の規定により研究発表後5年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。
外部への資料・情 報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に 係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧につい て	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があり、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。

問合せ先	その他、この研究に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 小児外科学 安井 良僚 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-2211内線（8364）
------	--

作成日： 2025年12月08日